

4. 公営住宅にみる被害比較

- 1) 穴水町営来迎寺住宅
- 2) 珠洲市営正院団地
- 3) 輪島市営マリンタウン住宅

4. 公営住宅にみる被害比較

鳳珠郡穴水町大町



- 穴水町
町営来迎寺住宅

珠洲市正院町正院



- 珠洲市
市営正院団地

輪島市マリンタウン



- 輪島市
市営
マリンタウン住宅



4-1) 穴水町営来迎寺住宅

町営住宅1: 建築年: 1987(S62)~1989(H1)年



町営住宅4: 建築年: 2004(H16)~2007(H19)年



- 穴水町営来迎寺住宅は、穴水町の内陸部にある。1987~1989年(H1)竣工の町営住宅1と2004年~2007年(H19)竣工の町営住宅4を調査した。
- 町営住宅1は竣工年としては町営住宅4より10年以上古いが無被害にみえた。
- 町営住宅4は瓦の落下の被害がみられたが、それ以外には外観上の被害はなかった。

4-2) 珠洲市営正院団地

建築年:1993(H5)~1994(H6)年



- 珠洲市営正院団地は海岸から約200m程度の距離にある1993年~94年の竣工。平屋と2階建てが混在している。
- 瓦の落下の被害がみられたが、それ以外には外観上の被害はなかった。

4-3) 輪島市営マリンタウン住宅

建築年:2008(H20)年



- 輪島市営マリンタウン住宅は、2007年能登半島地震の際、地震発生から2年で入居させる目標のもと、災害公営住宅として、2008年に建設されたものである。被災者の既存住宅(道下地区)とは離れた立地ではあるが、緑地の予定であった輪島市有地を活用したものである。
- 全12棟あるが建物に外観上被害は見られなかった。屋根瓦の落下は全くなかった。
- 敷地内に地面の割れ、噴砂がみられたが、建物に影響は無し。

4. 公営住宅にみる被害比較

まとめ

- 住生活基本計画で推進されてきた公営住宅の建設だが、調査した穴水、珠洲、輪島の公営住宅は、いずれも、それぞれの周辺の一般住宅が崩壊や大きな残留変形を多くみられたにも関わらず、大きな被害を受けているものはみられなかった。
- 公営住宅は公営住宅法に基づき、公営住宅整備基準に準拠して建築される。
- この基準にける住宅の基準では、防火・避難・防犯への配慮、断熱性能、遮音性能、耐震性能、劣化、設備の点検・補修についても定められている。
- 耐震性能については基準法より上位の性能を求めてはいないが、一般の住宅より高い性能が確保されていた可能性が考えられる。

令和6年 能登半島地震
調査レポート
Ver. 2.1

2024年08月08日

※記載内容の複写、複製(コピー等)を禁じます

【著作 / 発行】



INTEGRAL®

株式会社インテグラル
株式会社インテグラルテクノロジー
茨城県つくば市学園南2-7
電話: 029-850-3331